

99-343

問題文

治療薬物モニタリング(TDM)に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. タクロリムスは、血清試料を用いて測定する。
2. アミカシン硫酸塩は、血中濃度を一定に維持する投与方法が望ましい。
3. ジゴキシンを測定対象とした時の採血は、定常状態に達した後の追加投与前が望ましい。
4. 血清バンコマイシン濃度が、ピーク値として $60\mu\text{g/mL}$ 以上の時、有効治療域となる。
5. 血清リチウム濃度のトラフ値が 2.0mEq/L を超えたときは、減量・休薬が必要となる。

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが

タクロリムスは赤血球に分布するため、通常は全血を用いて TDM を行います。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

アミカシンは、アミノグリコシド系抗生物質です。臨床効果は、 $C_{\text{max}} / \text{MIC}$ または AUC / MIC と関連します。又、 $C_{\text{max}} / \text{MIC}$ が、ある程度以上必要とされています。つまり、ピークがドーンと上がった方が効果が高いということです。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、その通りの記述です。

選択肢 4 ですが

バンコマイシン濃度がピーク値として $60\mu\text{g/mL}$ 以上 はもう中毒域に近い濃度です。有効治療域は、 $25 - 40\mu\text{g/mL}$ 程度です。又、トラフ値 $10 - 20\mu\text{g/mL}$ を目標とします。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、その通りの記述です。

以上より、正解は 3,5 です。